

施設における感染対策のポイント

令和3年11月作成

高齢者介護施設等は、以下の特徴が重なるため、感染症が広がりやすい状況にあります。

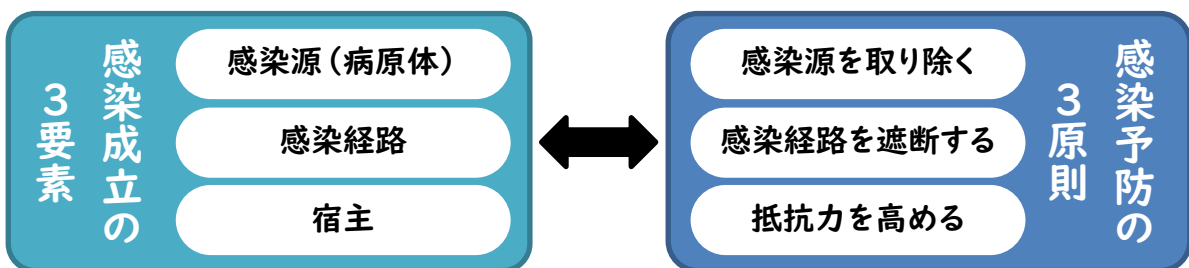
- ❖ 高齢者の特徴 … 加齢のため感染症に対する抵抗力が低下する
認知機能低下のため感染対策への協力が得られにくい
- ❖ 施設の特徴 … 集団生活の場である

平常時／感染症発生時の対策を職員間で共有し、感染症の流行に備えましょう。

❖ 感染成立の3要素と感染予防の3原則

感染を成立させないためには、3要素を揃えないことが大切です。

特に、感染源を「持ち込まない」「持ち出さない」「拡げない」ことを意識しましょう！



❖ 平常時の対策

日頃から標準予防策を実践しましょう。

健康観察により感染症患者を早期に発見することが、感染拡大防止につながります。

利用者	職員	施設
<ul style="list-style-type: none">健康観察の実施症状があるときは、<u>早期の受診(検査)につなげる</u>	<ul style="list-style-type: none">自身の体調管理症状があるときは、<u>感染を想定して仕事を休み、受診する</u>	<ul style="list-style-type: none">施設内の衛生管理職員研修(ガウン着脱手順、吐物処理 etc)<u>職員が体調不良時に休みやすい環境づくり</u>

標準予防策

すべての人の血液、体液、汗を除く分泌物、排泄物、傷のある皮膚、粘膜などは、何らかの病原体をもっているとして対応します。

- ✓ 手指衛生 (1ケア1手洗い)
- ✓ 個人防護具 (手袋、マスク、ガウンなど) の使用
- ✓ 物品の個別化
- ✓ 環境整備 (日常の清掃)

検査で「陰性」でも、検査の種類やタイミング等によっては実は感染が隠れている(偽陰性)かも!?

引き続き感染対策を忘れずに!



新型コロナウイルス感染症の場合、典型的な経過をたどらないこともあります。例えば、発熱したが1日で平熱に戻った倦怠感はあるが発熱はない など...
症状が軽くても、受診&十分な休養を!

◆ 感染症発生時の対応

感染拡大防止のため、迅速・適切に対応する必要があります。

発生状況の把握

「いつ」「どこで」
「だれが」「どのくらい」
発生したか

感染拡大の防止

- ・ 発生状況を職員間で情報共有
- ・ 標準予防策に加えて、
経路別予防策の徹底
- ・ 消毒の実施

必ず手洗い
手指消毒



個人防護具
の着用



ゾーニング

- ・ 感染(疑い)者は、原則個室に隔離し、部屋から出ないようにしてもらう
- ・ ゾーニングを行い、各エリアの担当職員を決める

(ゾーニングの例)

【レッドゾーン】

ウイルスが存在する区域

【イエローゾーン】

ウイルスが存在する可能性がある区域

個人防護具(PPE)を脱ぐ場所

【グリーンゾーン】

ウイルスが存在しない区域



個人防護具(PPE)について

感染源から自分の身体を保護するため、
他の人に感染を拡げないために、正しくPPEを使用しましょう!

✦場面に応じて適切な PPE を使用しましょう。

感染源となる可能性があるもの

- ・ 血液や体液
- ・ 排泄物(尿、便)
- ・ 分泌物(喀痰、膿)
- ・ 損傷のある皮膚
- ・ 粘膜

手が汚染

身体が汚染

顔(粘膜)が汚染

飛沫感染

手袋

ガウン、エプロン、
キャップ、シューズカバー

ゴーグル
フェイスシールド

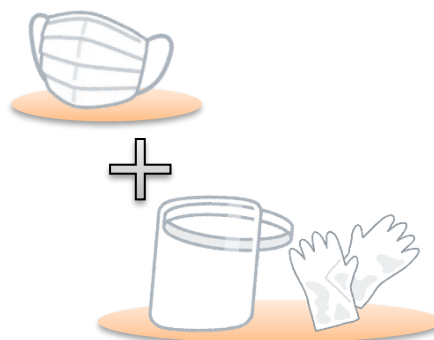
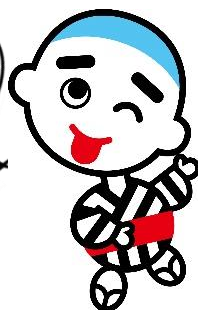
マスク

✦ケア等で使用した手袋等は、ケア毎に新しいものと交換しましょう。

✦手袋を外した後、新しい PPE を着用する前には手指衛生を行いましょう。



相手がマスク着用
できないときは、
自分の感染対策を
強化しましょう!



【問い合わせ先】

四日市市保健所
保健予防課 保健予防係
TEL: 059-352-0595
FAX: 059-351-3304